

# 救急科課程を実施しました



今般、消防職員専科教育救急科課程を実施しました。

平成25年10月1日にはじまった教育訓練は、関係各位の御指導・御協力により無事終了し、県下に新たな救急隊員62名が誕生しました。

## 1 期間

平成25年10月1日（火）～11月26日（火） 39日間（270時間）

## 2 場所

山梨県消防学校、山梨大学医学部、県立中央病院、各消防本部（現地研修）

## 3 内容

- (1) 救急業務及び救急医学の基礎
- (2) 応急処置の総論
- (3) 病態別応急処置
- (4) 特殊病態別応急処置
- (5) 実習及び行事

## 4 修了者

10消防本部62名



## 5 教育訓練の風景



救急救命士による講義



県立中央病院医師による講義



応急処置法訓練（血圧測定）



応急処置法訓練（三角巾取扱い）



応急処置法訓練（頸椎固定）



応急処置法訓練（全脊柱固定）

平成 24 年中の救急出場  
件数は、何と 580 万件（約  
5 秒に 1 回出場）を超えま  
した。引き続き、救急車の  
適正利用に御協力をお願  
いします。





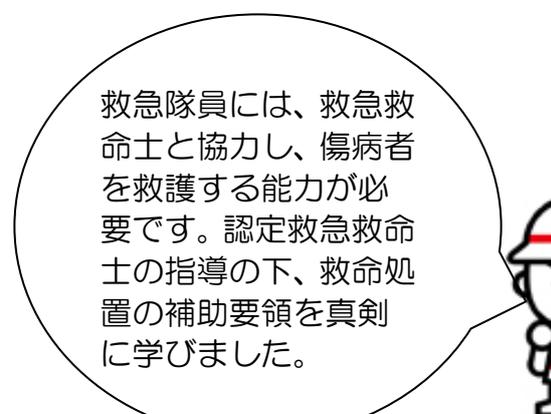
救急救命処置補助要領訓練（気管挿管）



救急救命処置補助要領訓練（静脈路確保・薬剤投与）



救急救命処置補助要領訓練（気道確保）



救急隊員には、救急救命士と協力し、傷病者を救護する能力が必要です。認定救急救命士の指導の下、救命処置の補助要領を真剣に学びました。



応急処置法訓練（分娩介助）



「1,2,3」

「バッグ」

応急処置法訓練（新生児蘇生法）



応急処置法訓練（車外救出）



県立中央病院ドクターヘリ見学



シミュレーション実習



シミュレーション実習



START法トリアージ実習



トリアージタグ記入要領講義・実習



## 「応急手当普及啓発要領」実習



「応急手当普及啓発活動要領」の実習を兼ね、「消防団員指導員研修」において、学校教官の下、ガイドライン2010に基づく心肺蘇生法と外傷傷病者の体位変換・救助要領の基本技術を指導しました。



この実習は、住民指導の方法を実践的に学ぶ良い機会となりました。

# 「外傷プロトコルに基づく活動要領（JPTTECコース）」実習



指導者によるデモンストレーション



状況評価のポイント確認



初期評価における気道・呼吸管理



ヘルメット外し



救急現場で行うべき緊急処置



車外救出活動



頸椎カラーを使用した頸椎固定



ロングボードによる全脊柱固定



シナリオトレーニング



実技試験



「外傷プロトコルに基づく活動要領（JPTECコース）」修了式



最終日のシミュレーション実習（査閲）



修了式（修了証書授与）



修了式（校長訓示）

問い合わせ先  
山梨県消防学校  
教務スタッフ 岡本  
電話 055-273-4078